

# <心づくりチーム>

## 【児童生徒の実態】

知的好奇心が高く、学習意欲が高い。興味があることに主体的に取り組むが、集団に対しては関心がやや薄い傾向もみられる。集団との関わりが求められる場面で、協同的に活動に向かう意識、積極的に解決しようとする能力がやや低い。

## 【部会のねらい】

令和4年度から新たに設立の部門「心づくりチーム」は、「学級づくりチーム」と「道徳教育チーム」の活動を継承したチームの位置付け。2年目となる本年度は、以下の2点をねらいとした。

- ①二中学区の「心づくり」に関連する活動の、「見える化」に取り組む。
- ②二中学区の「心づくり」に関連する活動を、児童生徒及び職員に周知した上で実践し、その後の指導につなげる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心づくりチーム版「教師用活動デザイン」を活用し、見える化した4つの取組(①市いじめ防止強調月間に合わせた、学級力向上アンケートの実施と分析 ②道徳教育における、カリキュラムマネジメントシートの活用〔地域連携、郷土愛〕 ③二中学区あいさつ運動の充実 ④読書活動の充実について、計画的に周知・実践する。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師用活動デザインの活用。年度始めから「年間の見通しをもって活動」「各校で、教師の役割分担を明確にして活動」に取り組むことができた。</li> <li>・①市いじめ防止強調月間に合わせて二中学区共通の指針を作成した。特に「いじめを生まない、温かい学校の雰囲気高めよう」について周知した。また、学級力向上アンケートのねらいである「学級の良い所を伸ばす」視点を、「いじめの防止」につなげるように位置付けした。</li> <li>・②道徳教育における、カリキュラムマネジメントシートの活用。本地区の課題である「郷土愛」に視点をあてて、各校で道徳教育を推進・実践した。</li> <li>・③あいさつ運動では、出発前の中学生に「活動のねらいの確認」を行い、あいさつ運動実施後は、小中代表者からの一言を取り入れた。「ちょっとした工夫」で活動に「意味付け」と「深まり」をもたせた。</li> <li>・④各校で実施している読書活動の取組を、校務支援システム内の掲示板を通して共有することができた。また、小中のつながりをもたせる新たな取組として、「中学生によるおすすめ本の紹介」を実施した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①活動内容の精選と工夫 キーワード:「どう進めていけば?」</li> <li>・より望ましい活動の在り方については、毎年検討し工夫を重ねる必要がある。日頃各校で取り組んでいる内容に、「意味付けをもたせる」ことや、今後も無理なく継続できる取組が望ましい。</li> <li>②活動の目的の明確化 キーワード:「何のために?」</li> <li>・活動ありきではなく、ねらいを明確にし、ねらいの達成に向けての手立てとして活動を位置付けること。指導する教師に限らず、子ども達自身に「何をねらいとして活動するのか?」を示していくことが求められる。</li> </ul>



↑ 教師用活動デザインで年間の取組を見る化



↑ 市いじめ防止強調月間に合わせた取組で意味付け




↑ 道徳教育の充実に向けた取組を共有




↑ 読書活動の推進 魅力あふれる取組の共有




↑ 学級力向上アンケートの実施と分析




↑ 挨拶運動の充実に向けた工夫